

<産婦人科>

GI0 (general instructional objective)

産婦人科領域の腫瘍の治療、周産期医療、生殖医療を網羅的に経験することにより、産婦人科医師として必要な各領域の疾患・病態に対する理解を深め、同時に頻度の高い疾患については、基本的な臨床的管理が行えることを目標とする。

SB0s (specific behavioral objectives)

(1) 基本姿勢

(ア) 女性生殖器の解剖の特徴、および月経周期の調節機序を理解する。

(イ) 女性のライフサイクルでの身体の変化に対する理解を深める。

(ウ) 代表的な婦人科疾患の病態について理解する。

(エ) 妊娠・分娩・産褥の生理と病態についての理解を深める。

(2) 診察法・検査・手技

(ア) 婦人科疾患の病態の把握ができる病歴聴取を心がける。

(イ) 上級医の指導のもとで女性生殖器の視診・触診を行い、疾患が存在する可能性を判別できる。

(ウ) 各種の画像診断の疾患ごとの所見を理解し、診断を導くことができる。

(エ) 代表的な婦人科疾患の検査計画を立てることができる。

(オ) 基本的な手術の術式を理解し、助手を務めることができる。

(カ) 上級医の指導のもとで、妊産褥婦の外診・内診・経腹超音波検査・胎児心拍モニタリングができる。

(3) 症状・病態への対応

(ア) 女性生殖器についての理学的所見や検体検査・画像診断の結果を総合して、鑑別診断を挙げることができる。

(イ) 代表的な婦人科疾患の治療計画を立てることができる。

(ウ) 産科異常や妊娠合併症の治療計画を立てることができる。

(エ) 分娩の進行の予測ができる。

LS1 (learning strategy 1) On the job training

(1) 上級医の指導のもとで入院患者の診療を行う。受け持ち患者数は10から15人程度とする。

- (2) 各種の婦人科疾患手術や帝王切開術の助手を務める。
- (3) 上級医の指導のもとで、周術期の管理を行う。
- (4) 上級医の指導のもとで週1回程度、妊婦健康診査を行う。
- (5) 上級医の指導のもとで、婦人科外来の見学および問診を行う。
- (6) 週1回の部長回診で症例提示を行う。

LS2 (learning strategy 2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 週1回の科内の術前症例検討会・勉強会に出席する。
- (2) 月1回の小児科との合同カンファレンス（周産期カンファレンス）に出席する。
- (3) 興味を抱いた疾患・病態について自己学習し、ローテーション期間中に症例発表を行う。
- (4) 上級医の指導のもと、東京産科婦人科学会で症例発表を行う。

週間予定（例）

	午 前	午 後	夜 間
月曜日	婦人科外来	手術、または病棟業務	分娩待機
火曜日	手 術	手術、または病棟業務	周産期カンファ（第1週） 分娩待機
水曜日	産科外来	検査外来	症例検討会、病理カンファ 分娩待機
木曜日	手 術	手術、または病棟業務	分娩待機
金曜日	手 術	手術、または病棟業務	分娩待機

EV 評価

EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、EPOC 評価システムに入力すること